

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考してください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやフロアなどの撥水性能（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。生地を傷めるおそれがあります。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売りのスムーズライダー™やローソクの口ウを塗ると回復します。
- ポールやペグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまないで入らないので使用を避けてください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

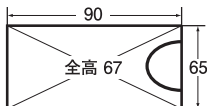
破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

※図中の単位はcmです。

○寸法

- ドギードーム #1122270



○素材

- キャンピー：75デニール・ポリエステル・タフタ、ナイロン・メッシュ
- フロア：70デニール・ナイロン・タフタ（耐水压2,000mmウレタン・コーティング）
- フライシート：75デニール・ポリエステル・タフタ（耐水压1,500mmウレタン・コーティング）
- ポール：グラスファイバー強化プラスチック、ショックコードつき

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

mont-bell

取扱説明書

ドギードーム

Doggy Dome

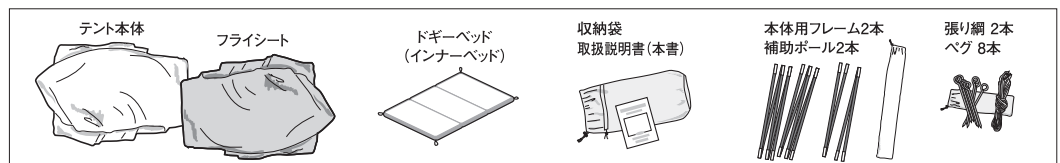
この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品はキャンプサイトなどで使用できる、大型犬にも対応するサイズの犬用テントです。本体上部がメッシュ地で通気性がよく、インナーのドギーベッドは取り外して手軽に洗えるのでテント内を清潔に保つことができます。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意 必ずお読みください

危険 人や犬が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 出入り口やベンチレーターを常に開け、換気は充分ご注意ください。
- 台風、落雷、強風、豪雨、大雪などの厳しい自然条件の際は、キャンプ場の管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- 河原や河川付近に設営する際は気象条件により突然増水することがあります。設営場所は特に注意してください。

警告 場合により人や犬が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品に犬が慣れるようにあらかじめ練習をしてください。
- 本製品を設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 出入口は風下側を選び設営してください。強風で本製品が飛ぶおそれがあります。
- 本製品の設営の際は水はけがよく、出来るだけ平坦で危険の無い場所を選んでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できないおそれがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できないおそれがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できないおそれがあります。

注意 人や犬が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 稜線上や大木の近く、広い草原では落雷に注意してください。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 使用の際は必ずペグと張り綱で固定してください。設営する場所によっては、付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ設営する場所の地面の状態を確認してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要です。
- 本製品のテント本体やペグ等は、犬の係留用ではありません。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- 本製品に慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に必ず試し張りを行ってください。
- 各パーツや付属のペグには鋭利な部分があります。取扱いにご注意ください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないようにしてください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ポールを通しテント本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てや、ペグ打ちの作業をさせないでください。
- 本製品のフライシートの生地には防水加工が施されています。外気との温度差が大きいと、結露によって生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。本製品の換気を行うことで改善することができます。
- 破損したままのポールをテント本体のポールスリーブにポールを通すと、ポールスリーブを傷つけるおそれがあります。破損した場合は破損した鋭利な部分をヤスリ等で滑らかに削るか、カスタマー・サービスまでご連絡ください。
- ポールを組み立てる際は、奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとポールが破損するおそれがあります。

2

■ 使用前の点検

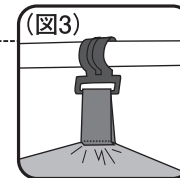
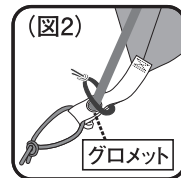
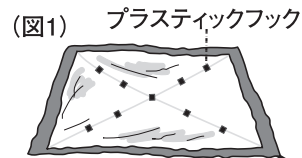
- ポールに亀裂などの破損がないか
- 生地が破れがないか
- 犬が本製品を噛んでいないか

■ 使用方法

- **組み立て方法**
新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

1. テント本体の組み立て

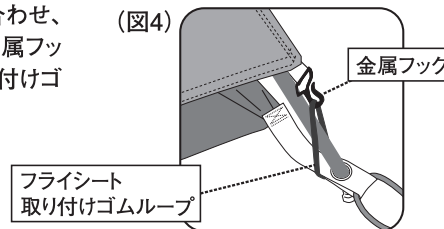
- ① プラスティックフックのついている面を上にしてテント本体を広げます(図1)。
- ② 本体用フレームをショックコード通りに接続し、組み立てます。この時フレームは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを注意してください。
- ③ テント本体中央のフックの向きと平行になるように、はじめに一本の本体用フレームの両端を底部テープのグロメット(鳩目)に差し込み(図2)、中央のフックのみをフレームに取り付けます(図3)。



- ④ 残りの一本のフレームの両端を底部テープのグロメット(鳩目)に差し込みます。
- ⑤ 全てのプラスチックフックをフレームに固定します。
- ⑥ 撤収はこの逆の順序で行います。

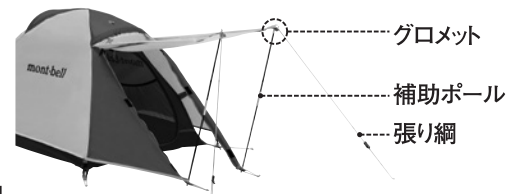
2. フライシートの取り付け

- ① テント本体とフライシートの出入口の位置を合わせ、フライシートをかぶせます。フライシート裾の金属フックをテント本体底部テープのフライシート取り付けゴムループに掛けます(図4)。



3. 前室タープの組立て方法

- ① 付属の補助ポールと張り綱を使用して、フライシートの入口をタープのように立てることができます。その際、補助ポールをフライシートの入口のグロメットに差し込み、張り綱をポールに掛けます。



3